



写真提供：右下：鹿児島県庁
他：新田直人（水産庁企画課）

CONTENTS

| | | |
|---|---------------|---|
| 平成21年度水産白書～これからの漁業・漁村に求められるもの～ | 漁政部企画課 | 2 |
| 回遊魚 | 海外漁業協力室長 平石一夫 | 6 |
| コラム “クジラについて考える” 消費者の部屋特別展示～赤松農林水産大臣も来訪～ | | 7 |
| 平成22年5月のプレスリリース | | 8 |

平成21年度水産白書～これからの漁業・漁村に求められるもの～

水産庁漁政部企画課

〇はじめに

5月21日に平成21年度水産の動向・平成22年度水産施策が閣議決定されました。

本年の特集では「これからの漁業・漁村」として、人口減少・高齢化の進行等様々な問題に直面している我が国の漁業・漁村の再生の途を探るため、その役割や位置づけを歴史的に振り返った上で、6次産業化(注)の展開方向など将来の在り方について模索しました。以下に概要をご紹介します。

(注) 6次産業化とは、農林水産業・農山漁村と2次産業・3次産業を融合・連携させることにより、農林水産物をはじめとする「資源」を利活用し、新たな付加価値を生み出す地域ビジネスや新産業を創出すること。

(1) 漁業・漁村の置かれている現状

(我が国の沿岸地域を支える漁業・漁村)

我が国沿岸には、津々浦々に漁村・漁港が立地し、漁村は海岸線5.6kmごと、漁港は12.1kmごとに立地することになります。漁村は、漁業者をはじめとする住民の生活の場であると同時に、水産資源を国民に供給するための漁業生産活動の基地としての役割を担ってきました。

- ① 漁業集落：6,298集落（海岸線 5.6kmごと）
- ② 漁 港 数：2,914港（海岸線 12.1kmごと）

(漁村の多くは条件不利地域に立地)

漁港背後集落の2割が離島地域、3割が半島地域に位置し、離島地域では3割の集落が高齢化率50%以上に及んでいます。さらに、漁港背後集落の3割が急傾斜地に位置し、集落背後地形も5割が崖や山が迫る狭隘な地形のため、生活基盤整備が立ち遅れているほか、大規模地震や津波等の災害に対し脆弱な立地にあります。

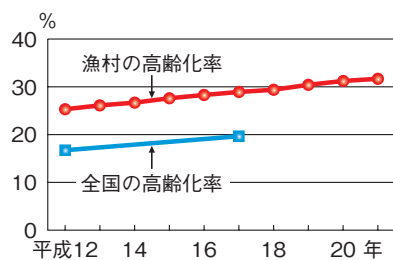
漁港背後集落の地域指定

| | 離島地域 | 半島地域 | 過疎地域 | 計 |
|------------------------|----------------|------------------|------------------|-----------------|
| 漁港背後集落数 | 790 (17.0%) | 1,468 (31.5%) | 2,645 (56.8%) | 4,653 (100%) |
| 65歳以上の高齢者が50%以上を占める集落数 | 210 [26.6%] | 192 [13.1%] | 399 [15.1%] | 494 [10.6%] |

資料：水産庁調べ（平成21年）

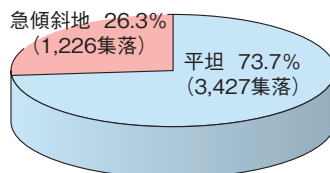
注：重複して地域指定されている場合があるため、各地域の集落数の合計は「計」に一致しない。

漁港背後集落の立地特性

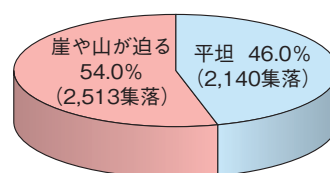


資料：総務省「国勢調査」及び水産庁調べ

集落地

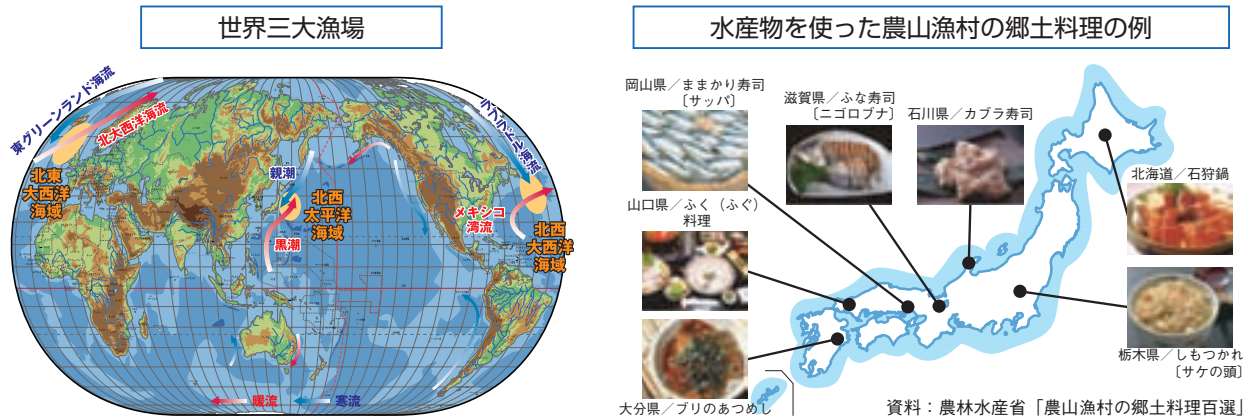


集落背後地形



(2) 我が国の魚食文化を支えてきた漁業・漁村 (自然環境によって形成されてきた漁業・漁村と食文化)

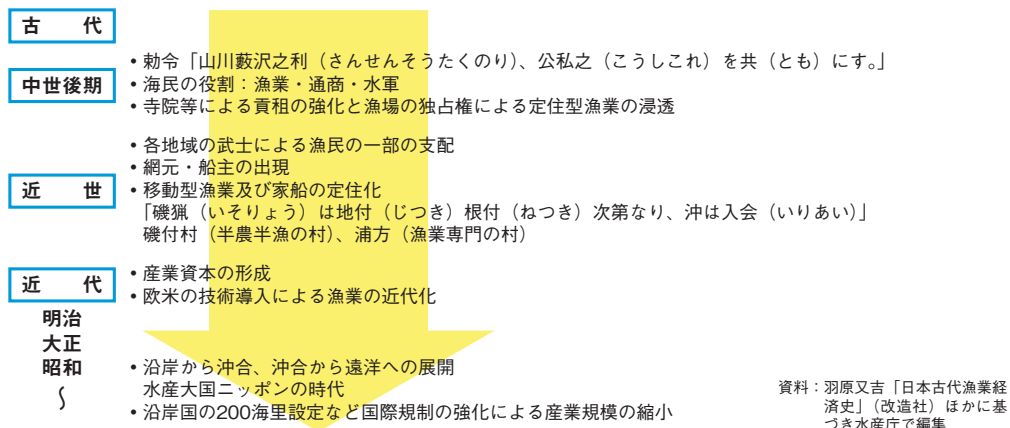
我が国は、亜寒帯から亜熱帯気候までまたがる多様な自然環境の下にあり、周辺の北西太平洋海域では世界三大漁場の一つに数えられる豊かな漁場が形成し、地域ごとに特色ある「魚食文化」を生み出しました。また、自然環境を構成する多くの要素が複雑に影響し合う日本列島では、沿岸において独自の伝統文化や集落景観を有する個性豊かな漁村が津々浦々に形成されました。



(日本の漁業・漁村の歴史を振り返って)

古代には、海人・海部と呼ばれる人々が漁業のみならず、海運や交易に携わり、広く近隣諸国との交流の担い手であったといわれています。中世以降は、海民は漁労のみならず、海運、水軍にも従事するなど、複合的な経営体として成長しました。江戸時代に入ると幕府の政策などにより、定住化と専門化が進み、漁村の形成が進行し、また、俵物と呼ばれる海産物の乾物が盛んに輸出されるようになりました。水産物の消費が拡大するにつれて流通業が発達するとともに、仲買人など、水産業の中での分業化が進みました。明治時代になると、海外の漁業知識や技術が導入され、我が国漁業の質的な転換をもたらしました。捕鯨、トロール、さけ・ます漁業等においては大資本が形成され、漁具や漁船建造などの関連産業も拡大しました。また、漁村においても、地元資本による漁業会社の成長や大手漁業会社での雇用が進むなど、大きな変化が生じました。第二次世界大戦後の食糧難の時代には、我が国漁業は国民への動物性タンパクの供給や外貨獲得の役割を担う一方、漁村の多くは企業的漁業に労働力を供給してきました。しかしながら、昭和50年代以降は、沿岸国が200海里漁業水域を設定し、国際的規制が強まる中で、我が国漁業は、我が国周辺水域における漁業を中心とした体制に移行していきました。

漁業・漁村の歴史 (古代から近世、近代まで)



(我が国の漁業管理のルーツ)

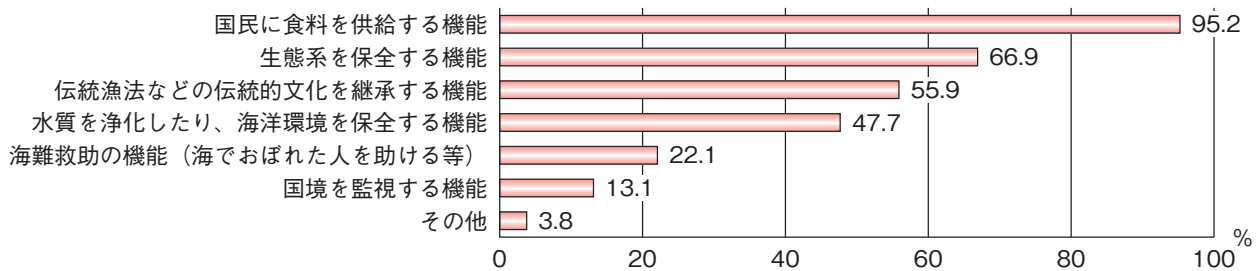
水産資源の私的独占や、池干しや毒の使用により魚を根こそぎ獲るなどの「酷漁」が問題になった奈良時代に、現代の漁業法のルーツといわれる「山川藪沢之利、公私之を共にす」との勅令が発出されたとされています。江戸時代になると、幕府により「磯猟は地付根付次第なり、沖は入会」の原則が示され、現在の漁業権制度の基礎となる考えが確立しています。

(3) 漁業・漁村に求められるもの

(国民は漁業・漁村に多様な役割を求めている)

漁業生産活動の基地となる漁村は、住民の生活の場であるとともに、そこに人が暮らし漁業を営むことで発揮される、いわゆる「多面的機能」を保有しています。消費者を対象とした意識調査では、漁業が担う役割として、「食料供給」のほかに、「生態系保全」、「伝統的文化の継承」、「海洋環境の保全」等が評価を受けています。また、消費者に対し、漁業の魅力を感じたところ、国民の食を支えることで人の役に立つことや新鮮な魚介類・恵まれた自然環境を享受できることが評価されています。さらに、今後、漁業・漁村の活性化のために必要な取組として、漁業と観光業の連携やブランド化、人材の受け入れ、地域資源を活かした活動等、海と魚を核とした新たな取組に対する期待が高まっています。漁業・漁村の活性化のためには、都市住民等との交流の中で、漁村の魅力を再発見し、それを活用し、付加価値の向上を図っていくことが重要と考えられます。

漁業が担う役割のうち、重要な機能（複数回答）



資料：農林水産省「漁業の担い手の確保・育成に関する意識・意向調査結果」（平成21年）
注：情報交流モニターのうち、消費者モニター1,500名を対象。回収率は87.8%（1,317名）。

(資源の持続的利用が求められている)

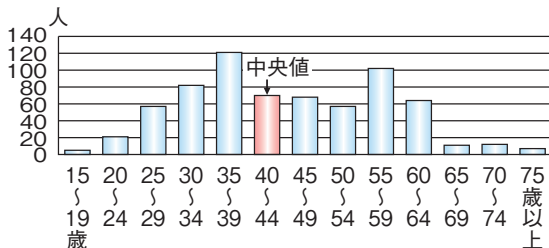
漁業・漁村の多面的機能の発揮には、水産資源の適切な管理と持続的な利用が不可欠です。地先の水産資源を共同管理するという我が国独自の手法は、現代においても引き継がれ、地域の存立に貢献しています。各地には、漁業法に基づく公的規制とあわせ、地元漁業者らが自主的な協定を締結し、資源管理を行いつつ、地域の存立を図っている事例がみられます。

地域資源とともに生きる漁業地域 〔北海道野付半島〕

ホッカイシマエビを持続的に利用するため、動力船の使用制限、漁期前の資源調査、禁漁区の設定等の資源管理を実施。漁業収入の安定により、高齢化率は4.4%と、全国の34.2%と比較し低い状況。



野付漁業地区における漁業者の年齢別構成

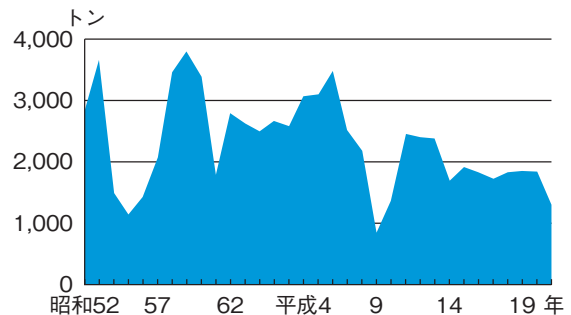


資料：農林水産省「漁業センサス」（2008年）

積極的挑戦と意思の疎通が地域を結ぶ 〔静岡県駿河湾〕

サクラエビの資源管理のため、地区合同で共同操業。水揚金額の共同配当等を実施。実効性ある資源管理が認められ、関係漁協はマリン・エコラベル・ジャパンを取得。

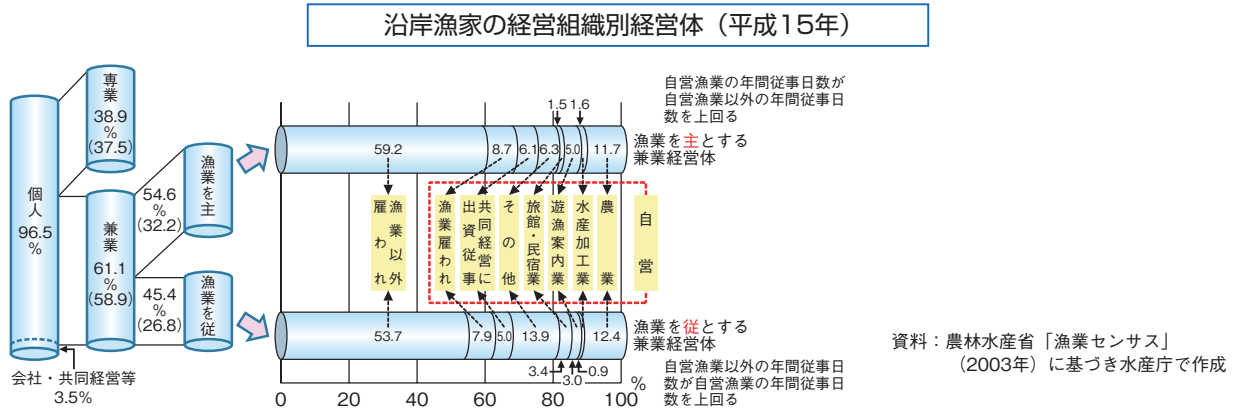
駿河湾におけるサクラエビの漁獲量の推移



資料：静岡県調べ

(海運・貿易・水軍から遊漁案内業、旅館・民宿業へ)

海運・貿易・水軍などの多様な役割を担っていた中世から近世の漁業・漁村と同様、現代においても役割が多様化しています。沿岸漁家においては、農業のほか、遊漁案内業、旅館・民宿業、水産加工業など、漁業以外の経済活動が複合的な営まれています。



(女性など多様な人材の活用が求められている)

漁家の手取り向上や漁村の活力の向上のため、女性の力を活用した水産物直売所や加工販売の取組の促進が重要です。各地には、地域外からの移住者やUターン者の力を活かして、漁業・漁村を含む地域資源を活用した地域活性化に取り組む地域や、移住者の就労環境の整備により漁業の担い手の育成・確保につなげる地域も出現しています。他地域との活発な交流により、新たな知恵や技術を取り入れて発展してきた漁業・漁村の歴史を再認識し、交流を基礎とした漁業・漁村の活性化策が課題です。

島全体が“自然学校”
(長崎県小値賀島)

NPO法人が農林漁家民泊、シーカヤック等の体験観光を推進し、島内外の若者を雇用。

“浜で生きる”漁とサーフィン
(千葉県鴨川市)

女性組合長の下で、サーファーが漁業に就業し、趣味と仕事を両立。

(4) 漁業・漁村の6次産業化に向けて (まとめ)

水産加工、水産物直売、漁家レストラン、漁家民宿、体験・観光漁業、遊漁、ダイビング等の漁業・漁村の6次産業化の取組が活発化してきています。こうした活動が盛んになってきた背景には、人々の価値観の大きな転換があると考えられます。

漁家民宿
(福井県)

福井県常神半島の漁家民宿では、地魚料理、体験学習などに積極的に取り組み、観光収入で漁業収入を下支え。

水産物直売
(福岡県)

福岡県の糸島漁協管内では、大都市に隣接している地の利を活かし、牡蠣をはじめとする海産物をイートインできる「牡蠣小屋」を開設し、人気。

水産物水揚港周辺には、水産加工業、冷凍・冷蔵倉庫業、肥料製造業など、関連産業が集積し、漁業は地域資源活用型産業の要として機能しています。圏域内の加工・流通業者等との連携を深め、実需者の望む水産物の供給や新規商品の開発、販路開拓等に取り組むことにより、地域経済の浮揚を図っていくことが重要となっています。

**刺身の大型サンマを使った
高級缶詰の開発
〔宮城県気仙沼市〕**

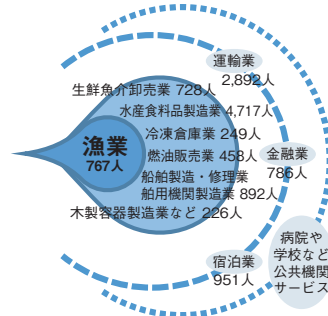
宮城県気仙沼市では、漁業者、缶詰業者、醤油業者が連携して、脂の乗った刺身の大型サンマを使った缶詰を開発・販売。



産業基盤としての水産業

大規模な水産物水揚港のある地域にとって、水産業は重要な基盤産業。例えば、静岡県焼津市では海面漁業就業者数は767人と、全産業の従業者数65,135人に占める割合（1.2%）は大きくないが、これら漁業に関連する産業の従業者は、焼津市の全産業の2割を占めるに至り、漁業を核とした産業クラスターが展開。

焼津市における漁業を取り巻く産業



資料：農林水産省「漁業センサス」（2008年）
平成18年事業所・企業統計調査（焼津市）

漁業・漁村は、現在厳しい状況に置かれていますが、歴史的にみると漁業だけでなく、海運、貿易の担い手としても活躍するなど、たくましく生きていました。現在、各地域では、都市との交流や、地域資源を活かした6次産業化の推進など、変化の胎動が始まっていますが、こうした動きは、漁業・漁村が本来有していた特徴が再び現れてきたものと捉えることもできます。

漁労活動は昔も今も危険を伴っています。そうした漁労活動を通じて、漁業者は私たち国民に水産物を届けてくれます。しかし、私たちがそのことに気づく機会も多くありません。今回の白書を読んでいただき、より多くの国民が漁業・漁村に興味をもっていただければと思います。

水産白書においては、今回ご紹介した特集以外にも、この1年程の大きな話題を取りあげた「トピックス」、平成20年度以降の水産をめぐる状況等についても記述しています。

下記水産庁ホームページに全体を掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/wpaper/h21/index.html>

回 遊魚

巨人・大鵬・目玉焼き

子供の頃の記憶をたどると、いつもボール遊びしていることが浮かぶ。近所の数人の友達で暗くなるまで空き地で拾ってきた木の枝や角棒をバットにゴム製の柔らかなボールを打って、走って、投げる野球遊びをしていた。白黒テレビにはバックネット裏映像の巨人戦中継に心を踊らせ、食らいつくように見ていた。小学高学年頃にはグローブと軟式ボールでの遊びとなり、憧れの王、長島のマネをみんなで競っていた。好物と言えば卵焼き、大人達が見ている相撲中継では横綱大鵬に好感を抱いていた。後で知ったが、その頃の子供が好きなものを「巨人・大鵬・目玉焼き」といわれており、本意であったが自分は確実にそのパターンであった。で、結局、高校まで野球ばかりやっていた。



海外漁業協力室長
平石 一夫

大学は理工系の精密機械工学専攻であったが、縁あって水産庁に採用され、漁船行政を担う今はなき漁船課に配属になった。二次オイルショックのときで、入庁間もなく燃油の対策室の業務にあたった。宮古、釜石、御前崎、枕崎など余り縁がない地名の位置関係に苦戦しつつの現場状況のとりまとめ業務であった。また、漁船の推進効率や機関の燃費等の基準策定や、省エネルギー事業の先輩方の手伝いをさせていただいた。その後、燃油価格は安定化した。平成17年の急激な燃油高騰で再び漁船の省エネ対策が求められたとき、奇しくも海洋技術室の担当であった私は、その巡り合わせに驚いたが、同時に入庁間もない頃の経験が大いに役立ったと実感した。また、漁船の検査・認定のためエンジン工場や造船所など多くの現場に行く機会が得られた。実際の漁船やエンジンなどを前にしながら知見を得ることは貴重な経験であり、これも大きな役立つ財産であった。

以前より行きながら野球している子供達がいれば、自然と目が行き心と体がうずうずした。そんなことから、三十路を迎えた頃から、草野球をしており、野球小僧魂は完全復活を遂げた。休日は時々親子バッテリーで草野球を楽しんでいる。

昨年9月から約10年ぶりの海外漁業協力室であるが、これまでの経験の役立つことが実感できるのを密かに期待しつつ、協力室チームに貢献したいと考えている。その活力源は、いまもって、白けつつも巨人であり、それとなく白鵬であり、密かに目玉焼きであることかと思っている。



コラム “クジラについて考えよう！” 消費者の部屋で特別展示

～赤松農林水産大臣も来訪～

農林水産省内の「消費者の部屋」において、『クジラについて考える ～クジラの利用と捕鯨問題～』の特別展示が、5月17～21日の日程で開催されました。

鯨類の資源管理に必要な科学的情報を得ることを目的として実施されている捕獲調査や、過去から現在までのクジラの利用等捕鯨について、クジラの歯やひげなどの標本や加工品、映像やパネル及びパンフレット等を展示し、分かりやすく紹介しました。

開催中の入場者は1,011人におよび、5月19日には、赤松農林水産大臣（当時）も訪れました。

来訪者の皆さんには、捕獲調査の概要と意義、捕鯨の歴史と食文化の紹介をとし、捕鯨問題についての理解を深めていただけたのではないかと思います。

また、特別展示開催中、消費者の部屋の前の食堂で「クジラの竜田揚」や「クジラの刺身」などクジラを使った料理を提供したところ、大変好評でした。



プレスリリース 5月分

| 発表年月日 | 発表事項名 | 担当課 |
|----------|--|-------|
| H22.5.11 | 「太平洋クロマグロの管理強化についての対応」について | 国際課 |
| H22.5.17 | 天皇海山漁場海底環境調査及びクサカリツボダイ資源調査の実施について | 漁場資源課 |
| H22.5.17 | 「水産政策審議会 第46回 資源管理分科会」の開催について | 漁政課 |
| H22.5.20 | 「海洋・沿岸域における水産環境整備の技術検討会（平成22年度第1回）」の開催について | 計画課 |
| H22.5.21 | 「平成21年度 水産白書」の公表について | 企画課 |
| H22.5.24 | 平成22年度 日本海マアジ長期漁況予報 | 漁場資源課 |
| H22.5.26 | まぐろ類に関する国際会合の開催について 1. まぐろ類地域漁業管理機関合同会合作業部会 2. 大西洋クロマグロ漁業国会合 | 国際課 |
| H22.5.28 | ズワイガニ幼生分布調査の実施について | 漁場資源課 |

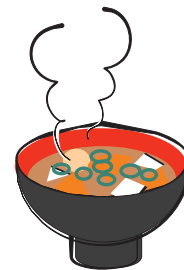


編集後記 “窓辺のカーテン”

風わたり、初夏を感じさせる頃となりました。田植えの終わった田んぼの緑もそよいでいます。この時期になるとふるさと山形の“いるか汁”を思い出します。“いるか”といっても鯨の皮の塩漬けで、これをごぼうやにんじん、こんにゃくなどと一緒に味噌汁仕立てにしたものです。鯨の脂が浮いたこってりした味は、北国では田植え時など農繁期に欠かせないエネルギー源でした。今回記事として取り上げた水産白書でも漁業と魚食文化の歴史を紹介しています。私たちの先達は時期や場所に合せて海の幸をいろいろ工夫して利用してきたのですね。

「漁政の窓」では皆様に水産庁施策についてわかりやすくお伝えできるよう努めていきますので、今後ともよろしく願いいたします。

ご意見やご質問がありましたら下記にお寄せ下さい。



水産庁施策情報誌 漁政の窓

編集・発行 水産庁漁政部漁政課広報班

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 合同庁舎1号館8階

代表 03-3502-8111 (内線6505)

URL <http://www.jfa.maff.go.jp/>

ご意見 ご質問はこちらへ → URL <http://www.maff.go.jp/j/apply/recp/index.html>